

平成23年度 第1号 (平成23年5月27日発行)

緩和ケアセンター長 廣川 誠

緩和ケアチームへの依頼方

経団ケア実施依頼書

※赤字の部分は自動記入されます。

印刷日時	●USERIDEC IDON	●PATIENTWARD 病棟	●USERIDEC IDON 外科	
依頼者名	●PATIENTNAME	患者ID	●PATIENTID	性別
主治医（内科）	●USERNAME	担当看護師名	性別	年齢
依頼日	●update	看護師氏名		

①

②

※なるべく重要な病名から記入して下さい。
治療方針に影響のある病名は必須です。

経団に対する治療希望（中）に記入願います。

※病室番号等（下記に連絡用）

希望状態	● 状態良好	● 状態悪化	● 状態不明	● 状態不明
主治	● 1 病室の状況がある。軽い症状は可也	● 2 病室に介助が必要。1日の半分は以上起きている	● 3 3日以上の介助が必要。1日の半分は以上臥している	● 4 入院に介助が必要。毎日臥している
歩行	● 問題なし	● 要介助（1人で歩行）	● 歩行	
排便	● 問題なし	● ボールプール	● 要介助	● ストーマ
食事	● 問題なし	● 要介助	● 経腸栄養	● 歩行
入浴	● 問題なし	● 要介助	● 歩行	
臥位	● 問題なし	● 車椅子	● 歩行	● その他

主治科（病棟）

1 不安	● G/L	● 軽	● 中	● 重	4 不眠	● G/L	● 軽	● 中	● 重
2 胸のつ	● G/L	● 軽	● 中	● 重	5 便秘	● G/L	● 軽	● 中	● 重
3 せん妄	● G/L	● 軽	● 中	● 重	6 その他	● G/L	● 軽	● 中	● 重

[illegible]

[プログレスノート/ツール/同意書・診断書](#)

院内頻用（会計対象）/70. 緩和ケア
緩和ケア実施依頼書（会計対象）

確定

緩和ケア実施依頼書を記入（なるべく詳細に）

カルテ保存

これで完了です！

当日あるいは翌日に、緩和ケアチーム
メンバーで初回ラウンドに伺います。

毎週金曜10時半から緩和ケア外来（完全予約制）も行っていますが、対象は外来患者さんです。
入院患者さんの場合は、緩和ケアチームへの依頼をお願いします。

Q. オピオイドローテーションについて正しいものはどれでしょう？

- 1) 同じオピオイドを使い続けると鎮痛効果に耐性が生じやすくなる。
- 2) コデイン180mgをオキシコドンに変更するには20mg/日とする。
- 3) モルヒネ経口投与により、眠気、傾眠がある場合は、注射剤に変更することを検討する。

答えは
裏に
あります



今年度活動予定

- ・ 院内の医師、コメディカルを対象とした**院内緩和ケア研修会**の開催：年4回(日程未定)
- ・ 県内の医師、コメディカルを対象とした**秋田大学医学部附属病院緩和ケア研修会2011**の開催：**7/16(土)、7/17(日)**
- ・ 患者さん、一般市民を対象とした「**がんの痛みの治療教室**」：年4回
- ・ 緩和ケアだよりの発行：年4回
- ・ コンサルテーション活動
- ・ その他：疼痛管理ポケットマニュアルの改訂など

研修会への参加、治療教室のアナウンスなど、ご協力お願いします。

5月より医療用麻薬のレスキューが患者自己管理可能となりました

平成18年12月に「病院・診療所における麻薬管理マニュアル」が改定されたことにより、患者さん自身が服用管理できる状況であれば、必要最小限の麻薬を自己管理してもらうことが可能となりました。

当院でも、実際に患者さんより「自宅では自分で管理していたのだから、入院してからもそうしたい。」との希望があったことを受け、医療安全管理部、薬剤部、緩和ケアセンターとで、平成22年8月より医療用麻薬の患者自己管理運用に向けて検討を行ってきました。まずは1回分のレスキューを患者自己管理とすることで、その運用方法を作成しております。詳しくは5月6日(金)に開催されたリスクマネジャー会議の資料をご参照ください。

レスキューが患者さんの手元にあることで、痛いときに患者さんの判断ですぐに使用できるというメリットがあります。ぜひ皆さんもレスキューの患者自己管理について前向きにご検討いただければと思います。

緩和ケアQ&Aの答え

- 1) ○.
- 2) ○. コデイン180mgはモルヒネ30mgに相当し、経口モルヒネ量の2/3が経口オキシコドンの量となります。
- 3) ○. モルヒネは主に肝臓でM3Gと眠気や傾眠の原因となるM6Gに代謝され、尿中に排泄されます。M6Gの産生は経口にくらべ静注では比較的少なくなります。

秋田大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

TEL:6223

メールアドレス: kanwa-t@hos.akita-u.ac.jp

